

夏! 1、2年生、岩井臨海学園に行ってきました。 ライフセービングプログラムを体験しました! 人を助ける大人になりたい!



みんながライフセーバーなら事故は起こらない!



昨年(サーフボードの小さいもの)は東日本大震災の影響で中止になった夏季施設(ESC那須)でしたが、今年(サーフボードの大きいもの)は岩井臨海学園で実施しました。七月二十九日、三十一日は二年生、七月三十一日、八月二日は一年生が行ってきました。素晴らしい青空のもと、ニッパードボードの波乗りは最高でした。生徒たちはライフセーバーの熱心な指導を受けながら真剣にライフセービングプログラムを体験し、自分の命は自分で守る。「自分を守れないものは、他者を救うことはできない。」というライフセービングの精神を学びました。

命を守ることも助け合うことも大切なことです。海で泳ぐ楽しさを改めて味わいました。命の大切さや海での怖さを味わうことができ、本心に良かったです。3日間とても疲れたけれど楽しかった。海の怖さも楽しさも知ることができた。とても貴重な体験ができました。3日間ライフセービングが一番心に残っています。

海の中で人を助けるというプログラムを初めて行い、その大切さがわかりました。中学生でも人の命を救えることができるライフセービングプログラムでわかりました。海の楽しさや怖さを学ぶことができました。ライフセーバーの方々の指導の一つ一つの言葉には「命の大切さ」が込められていました。また、人を助ける勇気、助けに行き、勇気。その大切さを知りました。友達を助けたというレスキューを行ったとき、本当にライフセーバーになりきっている気分が、命を救うことの感動があった。

さあ9月、一学期後半スタートです!

猛暑の続いた夏休みも終わり、9月1日、土曜日授業でスタートしました。暑い夏、生徒たちは岩井学園、部活、補習や実力アップ教室、そして区教委主催の「本気でチャレンジ教室」(王子ホール)、プール教室などに取り組み、頑張っていました。ご家庭でも家族の行事や家の手伝いなど学期中にはできない様々な取り組みができ、充実した夏休みを過ごすことができたのではないかと思います。

さあ、9月です。一学期の学習は継続してまいります。はやく規則正しい生活に戻り、学習に取り組んでいきましょう。また、様々な行事もあります。9月末には連合体育大会、新生徒会役員を選挙、十月末には仲間と協力して作り上げる文化祭、一生懸命取り組んで行きましょう。実りの秋、一人一人が大きく成長することを期待しています。

校長 富張雄彦

東京都中学校 夏季野球選手権大会 第3位!!

王子桜中野球部は、北区夏季大会で優勝、都大会に出場しました。1回戦は手に汗握る接戦、延長の末勝利! その後は試合を経るごとに強くなり快進撃、最終日の駒沢球場まで勝ち進みました。準決勝は優勝した上一色中に惜敗しましたが、見事3位という栄冠を勝ち取りました。チームワーク良く、全員の力が一つになった輝かしい勝利でした。

1回戦	2-2 青戸中(延長3-2)
2回戦	3-0 足立四中
3回戦	2-0 八王子四中
準々決勝	6-3 早稲田実業中
準決勝	0-7 上一色中

地域で役に立つ中学生でありたい! 北区総合防災訓練(王子地区) に本校生徒152名参加!!

9月2日(日)に本校の校庭で、北区総合防災訓練(王子地区)が行われました。今年度は北区のメイン会場となり、11町会の約400名余の方々、区防災課、消防署、消防団、警察署、日赤ボランティア、医師団ボランティア、そして陸上・海上自衛隊の方々とともに本校生徒152名が加わり、地域で災害が起こったときのために、防災訓練を行いました。放水訓練、消火器訓練、毛布と2本の棒で作った簡易担架の訓練、起震車体験、布切れを使った包帯措置、煙体験、炊き出し(自衛隊の方々で作ってくれたカレー)の手伝等、町会の方々と力を合わせて取り組みました。平日の昼間に災害が起こったとき、頼りになる中学生であってほしいとの願いの中、頑張っていました。



地域の行事で活躍する中学生でありたい! 王子神社例大祭・御輿担ぎに参加しました!!



今年の王子神社の例大祭は本祭りとして8月3～5日に行われ、5日は御輿連合渡御でした。本校「おやじの会」の熊谷さんから「御神輿担いでみませんか?」というお話があり、声をかけたところ、三十数人が集まり、王子四丁目の王四睦会の御指導を受け、カー杯担ぎました。地域の人たちと共に掛け合う声、汗びっ



「北区進路フェア」 多数参加しました!!

8月5日(日)、飛鳥高校を会場に、北区中P連主催・北区教育委員会・中学校長会共催の「進路フェア2012」が開催されました。都立・私立の高校125校が参加、見学者は2,500名に上り、2年生、1年生も参加していました。最善の進路を決めるために、みんな真剣に、高校の先生の話を聞いたり、質問したりしていました。暑い中、熱気あふれる会場でした。



お泊まり会~ミステリーゾーン~お手伝い ~美術部ボランティア活動~

7月21日(土)、青少年王子地区委員会主催「お泊まり会」で、美術部がミステリーゾーンはお化け屋敷のお手伝いをしました。王小体育館の舞台上に、怖〜いマシーン、井戸やハケなど、美術部メンバーが一生懸命作った作品を並べました。始まると、児童や幼児たちがキャーキャーと歓声をあげて喜んでいました。児童館の方と一緒に素晴らしいボランティア活動をしました。



校長のつらさ 三陸の街を旅して

この夏も研修や全国大会の出張があり忙しい日々でしたが、合同をみつけて若手方面に一泊二日で海岸沿いを旅しました。東日本大震災からはや一年四ヶ月が経ちましたが、被災地の状況を自分の目で確かめたい、と思いたって、宮古から大船渡、陸前高田、気仙沼市の海岸沿いの街を回りました。

夏の青空のもと、三陸海岸は何事もなかったような美しい自然を見せていました。しかし、一歩街に入ると建物のほとんどない、一層できる市街地でした。街の瓦礫は片付けられていたが、改めて津波の恐ろしさに息を呑みました。家のコンクリートの土台だけが残り、かつてここに家が建ち並び、普通の幸せな生活が営まれていたのだと思うといたたまれない感情がこみ上げてきました。陸前高田で「奇跡の一本松」が遠くに見渡せる瓦礫の仮置き場ではクレーンで分類作業が進められていましたが木材の山は家々の柱でした。気仙沼市鹿折地区のプレハブの復興商店街で食

事をしながら店の方と話しました。「仕事はどうですか、少しは震災前のようにになりましたか。」「いやいや来るのはお客さんのような遠くから来る人と工事の人ばかり。まだ人が戻ってないから...」鮮魚店には地元で上がった新鮮な魚貝類が並んでいました。帰れないのがとても残念で、店の老婦は「商売にならないからねえ。」と、人が戻らなければ復興は始まらないことを実感し、早く復興計画を、と強く思いました。近くに海から七百メートルの内陸に三三三の漁船が残っていました。見上げるような大きな漁船を見て、津波の巨大な力を感じざるをえませんでした。船の周りに鮮やかなひまわりが咲き誇っていました。立札に「鹿折に花を! 鹿折中学校」とありました。至る所にきれいに植えられた花が咲き誇っていました。これから復興していく街の将来を支える中学生が誇っていました。これからの復興に、街づくりを支えていくことが志が伝わってきました。若い人たちが地域を愛し、行動することが復興を支えていくこと、北で生まれ育った子どもたちに、地域を愛する心を育てていきたいと強く思いました。

王子桜中生 夏の活躍!

- ◎区夏季大会
- ☆バレー部
男子 2位 7ブロック大会出場
- ☆ソフトテニス部
男子団体 3位 都大会出場
女子団体 5位
- ☆卓球部
女子団体 2位 都大会出場
女子個人 優勝 設楽もも
バサ 8 辻桃果 宇賀神いずみ
バサ 12 吉田 遥 響田結衣
三井愛理
6人全員都大会出場
- ☆野球部
優勝
- ◎都大会等
- ☆剣道部 7ブロック大会
個人トナリ1位 尾前嘉彦
(都大会出場)
- ☆野球部
都選手権大会 3位
- ☆吹奏楽部
都吹奏楽コンクール 銀賞